

研究種目：基盤研究 C

研究期間：2007年 ～ 2009年

課題番号：19520630

研究課題名（和文）：多文化社会の構築とアジア系アメリカ人のアイデンティティの変容に関する総合研究

研究課題名（英文） A Comprehensive Study of Asian American Role in the Construction of A Multicultural Society

研究代表者 馬 曉華 (Ma Xiaohua)  
大阪教育大学・教育学部・准教授  
研究者番号：30304075

研究成果の概要（和文）：

移民の国であるアメリカ合衆国では、国民の統合をもっとも重要な課題とする一方、さまざまな人種、民族集団の文化への尊重を基礎とした多文化・多民族共生・共存の政策、および活発な多文化主義論争が展開されている。

そこでこの研究は、この論争の議論をアジア系移民博物館の設立の経緯および展示などを通じて考察する。具体的には、アメリカ合衆国におけるアジア系移民博物館の設立過程と展示を中心に、国民統合のあり方および多文化社会の構築の実態を解明することを目的としている。アメリカ合衆国におけるアジア系移民の独自のアイデンティティの形成および変容の歴史過程を総合的に分析することにより、現在社会に存在するさまざまな人種・民族・宗教などの文化的な諸価値が、いかに公正で平和的に共存できるかを解明することが可能であろう。

研究成果の概要（英文）：

This research project is designed to examine the social-economic transformation of Asian Americans in the United States. It focuses on the roles of Asian Americans, particularly Chinese and Japanese Americans in the construction of multicultural America in the post-World War II era.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
平成 19 年度	1,500,000	450,000	1,950,000
平成 20 年度	1,000,000	300,000	1,300,000
平成 21 年度	1,000,000	300,000	1,300,000
年度			
年度			
総計	3,500,000	1,050,000	4,550,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学・西洋史

キーワード：アジア系アメリカ人、多文化主義、アイデンティティ、国民統合、移民博物館

## 1. 研究開始当初の背景

経済のグローバル化の進展により、ヒトの国際移動がますます加速されている。国境の壁を超え、「他者」との共生を実現するために、世界各国の人々がどのように相手の違い、民族・人種の違いを互いに認め合う寛容の精神や知恵を身につけることができるか、という新たな課題に迫られる。冷戦後、世界の紛争の原因は人種・民族・宗教の違い、総じて文化の違いの問題へと集中してきており、至るところで多文化の共存・共生の可能性が求められている。

移民の国家であるアメリカ合衆国は、国民の統合をもっとも重要な課題とする一方、さまざまな人種、民族集団の文化への尊重を基礎とした多文化・多民族共生・共存の政策、および活発な論争が展開されている。そこでこの研究は、この論争の議論をアジア系移民博物館の設立および展示などを通じて、総合的に考察を行う。

本研究は、アメリカ合衆国におけるアジア系移民博物館の設立過程と展示を中心に、合衆国における国民統合のあり方および多文化社会の構築の実態を解明することを目指している。具体的には、アジア系移民博物館の設立と展示を中心に考察し、アジア系移民のアイデンティティの変容過程を明らかにしたい。それによって、現代社会に存在するさまざまな人種・民族・宗教などの文化的な価値が、いかにして公正で平和的に共存できるかを解明することが可能であろう。

## 2. 研究の目的

本研究は、アメリカ合衆国におけるアジア系移民問題、特に第二次世界大戦後の中国人移民と日本人移民のアメリカ社会への同化過程を検討する。具体的には、中国人移民歴

史博物館、および全米日本人移民博物館の設立過程を歴史的に考察し、中国人移民と日本人移民の類似点と特徴を検討する作業を行う。中国人移民博物館と日本人移民博物館の展示の方法を比較しながら、アメリカ合衆国における国民統合の過程において、中国人移民と日本人移民の独自のアイデンティティの形成・変容過程を総合的に分析する。アメリカ合衆国におけるアジア系移民の独自のアイデンティティの形成および変容の歴史過程を総合的に分析することにより、現在社会に存在するさまざまな人種・民族・宗教などの文化的な諸価値が、いかに公正で平和的に共存できるかを解明することが可能であろう。

## 3. 研究の方法

移民の国家であるアメリカ合衆国は、国民の統合をもっとも重要な課題とする一方、さまざまな人種、民族集団の文化への尊重を基礎とした多文化・多民族共生・共存の政策、および活発な論争が展開されている。そこでこの研究は、この論争の議論をアジア系移民博物館の設立および展示などを通じて、総合的に考察を行う。

アメリカ社会に占めるアジア系アメリカ人は、1980年代の370万から1990年代の700万余りへと増加しているが、全米総人口の3%しか占めていない。戦後長い間、アジア系アメリカ人は、その独自の歴史や文化をアピールするよりは、アメリカ社会への適応と同化を優先し、自己の主張を抑えるようにした。しかし、1980年代からアジア系アメリカ人は教育・経済面の成功に加えて、アジア系アメリカ人としてのアイデンティティを維持するため、自分たちの歴史や文化をアメリ

カ社会に伝えるべきとして認識しはじめ、さまざまなキャンペーンを行いはじめた。

アメリカ社会では、中国系と日系移民が、過去、どのような体験があつて、それらの歴史的体験、戦後、彼らのアイデンティティの形成・変容にどのような影響を与えて、ひいてはアメリカの内外政策にどのような影響を及んでいたのかを総合的に分析する。同時に、さまざまな人種・民族集団の共存を実現するため、多文化社会の政策と構築を検証するための国際的視座や新たなパラダイムを提示できる社会学・歴史学的な総合研究を目指している。

本研究は、アメリカ社会におけるアジア系移民のアイデンティティの変容過程を、全米日本人移民博物館と中国人移民博物館の設立と展示を分析し、アメリカ合衆国における国民統合の実態を解明することを目的としている。また全米日本人移民博物館と中国人移民博物館の設立過程と展示を比較しながら、アメリカ合衆国における多文化主義のあり方と多文化共生社会の構築の実態を明らかにしたい。

具体的には、中国人移民博物館、および全米日本人移民博物館の設立過程を歴史的に考察し、中国人移民と日本人移民の類似点と特徴を検討する作業を行う。中国人移民博物館と日本人移民博物館の展示の方法を比較しながら、アメリカ合衆国における国民統合の過程において、中国人移民と日本人移民の独自のアイデンティティの形成・変容過程を総合的に分析する。それによって、アメリカ合衆国における多文化社会構築の実態および国民統合のあり方を理解することが可能であろう。

#### 4. 研究成果

本研究は、日本、米国、中国での史料収集・調査・分析を行った上で、世界華人研究大会 (The Fourth International Conference of Institutes and Libraries for Chinese Overseas Studies)、日本華人華僑学会年次大会で研究報告を行い、研究成果を発表した。そこでの議論を踏まえた上で、学会誌への寄稿、単行本の刊行を計画している。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計2件)

① 馬曉華 「観光・エスニシティ・記憶の文化ポリティクス：アメリカ合衆国におけるマイノリティ集団の博物館を中心に」『歴史研究』48号、2010年3月、1-22。

② Xiaohua Ma (馬曉華) “Reality of A Multicultural Society: Chinese Community in Canada,” 『英文学会誌』第53号、2008, pp. 87-126.

[学会発表] (計3件)

① 日本華僑華人学会年次大会、2009年11月14-15日、大阪大学中之島センター

② The Fourth International Conference of Institutes and Libraries for Chinese Overseas Studies, May 7-9, 2009, Jinan University, China

③ The XVIIth Biennial Conference of the European Association for Chinese Studies, August 6-10, 2008, Lund University, Sweden

[図書] (計1件)

Xiaohua Ma, “Constructing A National Memory of War: War Museum in China, Japan, and the United States,” Marc Gallicchio, ed., The Unpredictability of the Past: Memories of the Asia-Pacific War in U.S.-East Asian Relations (Duke University Press, 2007).

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

○取得状況（計0件）

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕  
ホームページ等

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

馬 暁華 (Ma Xiaohua)  
大阪教育大学・教育学部・准教授  
研究者番号：30304075

### (2) 研究分担者

### (3) 連携研究者